

## [ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第2組 ガバナー補佐

**井上義信** (吹田RC)



現在のIMは講演会形式が多い。テーマはロータリーの一のことに限らず、一般社会で話題性のあるものなら、良いとされている。ただ区内の会員の親睦も重要な目的なので、その配慮も必要だ。

第2組の前期の事例からいくつか気になったことがある。一つは出席に関することである。会員数448名で当日出席者は201名・出席率44.8%であり、事前にクラブから出席と連絡を受けた会員、つまり登録者数308名に対し当日出席者は201名だから予備登録者に対して出席率65%である。107名の誤差がある。これでは会場の設営や運営をしていただくホストクラブに

大変な迷惑を掛けることになる。ロータリアンは心したい。

今後のIMについても課題はある。その一つは現在、出席者率を上げるためか、有名講師を迎える傾向が強い。有名講師なら謝礼も80万円、90万円と高額だ。謝礼をもっと抑えて、僅かでも幸せの灯を灯す奉仕活動に回せないものか。

二つ目はIMに対する地区の関与である。運営の独自性は尊重すべきだが、ホストクラブに依存し過ぎていないだろうか。IMの在り方について地区の課題として、今後の検討が待たれる。